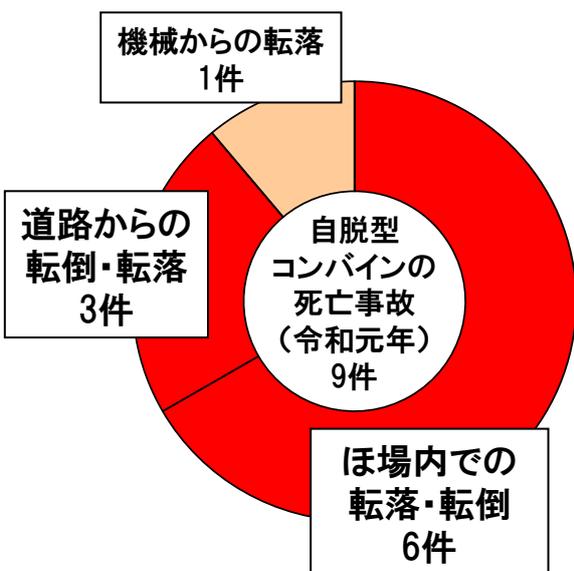


自脱型コンバインの事故の特徴と安全装備

死亡事故原因で最も多いのが転倒・転落です



負傷事故も含めると、**転倒・転落事故の半分弱は後進時に発生**しています。

さらに、刈取・搬送部では**チェーンやベルトへの巻き込まれ**、脱穀部では**手こぎ作業時のフィードチェーンへの巻き込まれ**、排わら処理部では**カッタで切られた事故が多く、重傷事故に至るケースも少なくありません。**



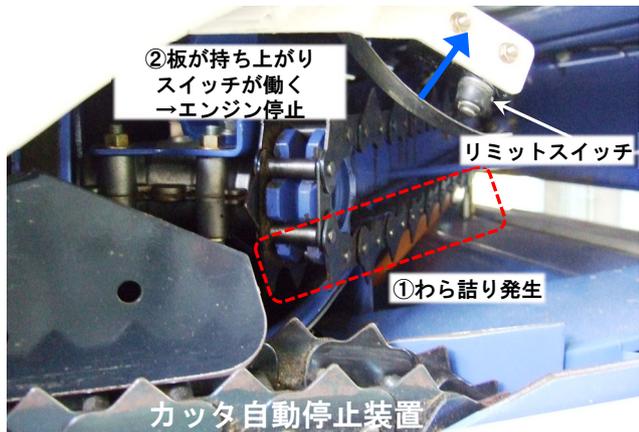
後進時は慎重に運転、手こぎ作業時や点検整備 清掃作業時の巻き込まれに注意しましょう！



大型のコンバインでは、後進時の後方確認用のバックモニターが装備されている機種もあります。カメラの視野、距離感などを理解しながら安全性向上の補助手段として活用しましょう。



手こぎ作業時にエンジンを緊急停止させる装置の装備が安全要件として求められています。緊急時に作業者の身体や生命を守る装置ですので、作業前にその位置と作用を確認しておくことが大切です。



リミットスイッチ：
わらが詰まった時にカッタの動力を自動的に切断する装置です。排わらチェーンやカッタの後カバーにわらが溜まるとスイッチが働いてエンジンが切れる仕組みです。
カッタ部の事故は重傷となります。エンジンが停止していない状態では、絶対に手を入れないください。点検整備・清掃作業は必ずエンジンを停止して行いましょう。